

## 立命館大学技術士会第 10 回総会【総会挨拶】

立命館大学技術士会会長の大森でございます。第 10 回総会に先立ちまして、ご挨拶申し上げます。

6 月 25 日火曜日、当会の顧問で立命館大学工学部名誉教授児島孝之先生がご逝去されました。享年 77 歳、まだまだお若く当会へのご指導をしていただけると望んでおりましたが、残念でなりません。ご冥福をお祈りいたします。

さて、当立命技術士会は発足後 10 年を迎え、また、年号も「令和」と新しくなりました。この 10 年を振り返りますと、母校立命館大学とくに都市システム系の 3 学科と連携し、学生に工学技術者は「どうあるべきか」「目指せ技術士」という技術者教育を開催してまいりました。そして、卒業生が技術士二次試験に挑戦するお手伝いをさせていただき、合格者には当会に参加、後進の指導をしていただくとともに、経験豊富な先輩技術士の皆様と親交を深めていただこうと活動を進めてまいりました。これらの活動に対し、会員の皆様には日頃からのご理解とご協力を賜り、また、ほとんどボランティアに近いご尽力をいただいた幹事の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年 2018 年度の技術士二次試験の結果を見ますと、全体の受験者数は、26,000 名程度と通年とあまり変動はないのですが、合格者は 2,355 名、合格率 9.1%と過年度と比べかなりの難関でした。そのうち立命館出身の合格者は 36 名おられました。大学別での順位は昨年とほぼ同じの 13 位で、私学では日大・早稲田に続く 3 位でした。立命館の校友技術者は頑張っておられます。

今年の試験は、来月 7 月 14, 15 日と迫ってきており、受験に挑まれる方々は猛勉強の際中とお察しいたします。

今後、技術士資格も更新制度を採用するような動きも見せております。その更新においては、講習会の受講や CPD（継続的教育）の証明が必要となってくるやと聞こえてきております。CPD については、当会会員・立命館大学校友の皆様に一層のお手伝いができるよう努めてまいりたいと考えております。

当会は変わることなく活動を進めてまいりますが、立命技術士会 10 年、令和元年を節目として、役員幹事を刷新し、また若い幹事を増員した新たな幹事団に替えていこうと考えております。本日の総会議題にも挙げておりますので、ご出席の会員皆様のご意見ご討議のほどよろしくお願いいたします。